



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー
(コード番号 4502 東証第1部)

News Release

2019年5月14日

2019年3月期と前期の連結業績の差異に関するお知らせ

当社は、2019年4月25日公表の2019年3月期連結業績予想(IFRS)におきまして予想値の公表をしていなかった親会社の所有者に帰属する当期利益および基本的1株当たり当期利益につきまして、本日公表の当期実績値と前期実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 当期(2019年3月期)実績値と前期(2018年3月期)実績値との差異について

(単位:百万円)

	売上収益	Core Earnings	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前期実績(A)	1,770,531	322,493	241,789	217,205	186,886	239円35銭
当期実績(B)	2,097,224	459,322	204,969	94,896	109,126	113円50銭
増減額(B-A)	+326,694	+136,829	△36,821	△122,309	△77,760	△125円85銭
増減率(%)	+18.5%	+42.4%	△15.2%	△56.3%	△41.6%	△52.6%
(ご参考) 前回公表予想*	2,097,000	459,000	205,000	95,000	-	-

* 2019年4月25日公表

2. 差異の理由

当社は、2019年1月8日にShire plc(以下、「Shire社」)の買収を完了し、同日から2019年3月31日までの同社の業績を連結しました。この結果、売上収益は対前期+18.5%の増収となり、また、企業結合会計による影響や買収関連費用等、本業に起因しない事象による影響を控除したCore Earningsは対前期+42.4%の大幅な増益となりました。

一方、Shire社の棚卸資産の公正価値調整や無形資産償却費等の計上があり、企業結合会計による影響は、税引前利益に対して1,856億円の減益要因となりました。また、Shire社の買収関連費用については、主力製品の伸長とコスト削減の効果により、その全額を吸収しましたが、税引前利益に対する影響は1,263億円の減益要因となりました。

4月25日の業績予想修正の公表時点で税金を算出中であつたため予想値の公表をしなかった親会社の所有者に帰属する当期利益は対前期41.6%の減益となりました。基本的1株当たり当期利益については、Shire社買収に伴う新株発行の影響もあり、52.6%の減少となりました。

詳細につきましては、本日公表の「2019年3月期 決算短信[IFRS](連結)」をご参照ください。

以上